

令和4年度評価版



®環境省

エコアクション21
認証番号 0010311

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間: 2022年04月01日～2023年03月31日)



公益社団法人 徳島県環境技術センター

発行日: 2023年09月01日

P	1	環境経営方針
P	2	組織概要及び認証・登録の対象範囲
P	3	エコアクション21の取組実施体制図
P	4	環境経営目標及びその実績
P	5	環境経営計画及び 取組結果とその評価、次年度の取組内容
	5	・・・温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減 ・電力使用量を削減する ・ガソリン使用量を削減する
	6	・・・廃棄物の削減及び3R(減量・再利用・再生利用)活動の推進 ・一般廃棄物を削減する
	6	・・・水資源の節水 ・水使用量を削減する
	7	・・・浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進 ・啓発活動・環境学習等実施(P10:各種環境保全活動・イベント等)
	7	・・・県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動 ・浄化槽教室における受講率
	8	・・・化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理
	9	・・・各支所での取組み及び取組結果とその評価
	10	・・・環境経営計画(次年度)の取組内容
P	11	各種環境保全活動・CSR活動・イベント等
P	20	主な環境負荷の実績と当年度の目標達成状況
P	21	環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無
P	22	代表者による全体の評価と見直し

基本理念

私たち公益社団法人徳島県環境技術センターは、徳島県における唯一の浄化槽指定検査機関として、県民への浄化槽に関する正しい知識の普及、法定検査の受検促進とともに、水環境保全事業活動を通じ、水環境問題及び限りある資源の保護に積極的に取り組み、豊かな経験と確かな技術で「徳島県の美しい水環境」を次の世代へ引き継いでいくことを理念としております。

そして、この理念のもと全職員が一丸となって環境負荷の継続的な軽減に取り組むことで地球環境を保全し地域社会に貢献します。

行動指針

1. 私たちは次の事項について環境経営目標、環境経営計画を立て継続的な改善に努めます。
 - 1) 県民への浄化槽に関する正しい知識の普及
 - 2) 法定検査の受検促進
 - 3) 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減
 - 4) 廃棄物の削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進
 - 5) 水資源の節水
 - 6) 化学物質の適正管理
2. 私たちは環境関連法規等を遵守します。
3. 私たちは環境への取り組みを環境経営レポートとしてまとめ公表します。

公益社団法人

徳島県環境技術センター

会長 田村 茂人

制定日： 2018年4月1日

改定日： 2020年5月27日

◆ 組織概要及び認証・登録の対象範囲

◆ 名称及び代表者名

公益社団法人 徳島県環境技術センター 会長 田村 茂人

◆ 環境管理責任者及び苦情等担当者連絡先

環境管理責任者 杵保 恭章
苦情等担当者 黒川 裕文 新川 学

連絡先 088-636-1234

◆ 認証等について

認証・登録番号	0010311	更新・登録日	2020年11月25日
認証・登録日	2014年11月25日	有効期限	2022年11月24日

◆ 所在地及び対象事業所

検査センター(事務局) 〒770-8001 徳島市津田海岸町2番33号
TEL:088-636-1234(代) FAX:088-636-1122

各支所

徳島(徳島事務所) 徳島市新蔵町3丁目80番地 徳島保健所庁舎3階

阿南 阿南市領家町野神319 (南部総合県民局 保健福祉環境部阿南庁舎内)

阿北 吉野川市鴨島町字鴨島106-2(吉野川保健所内)

美馬 美馬市脇町大字猪尻字建神社下南73 (西部総合県民局 美馬庁舎内)

◆ 事業内容及び事業活動範囲(全組織・全活動)

- ・浄化槽の法定検査事業
- ・濃度計量証明事業
- ・浄化槽普及啓発・講習会・環境広報活動

事業年度 4月～3月

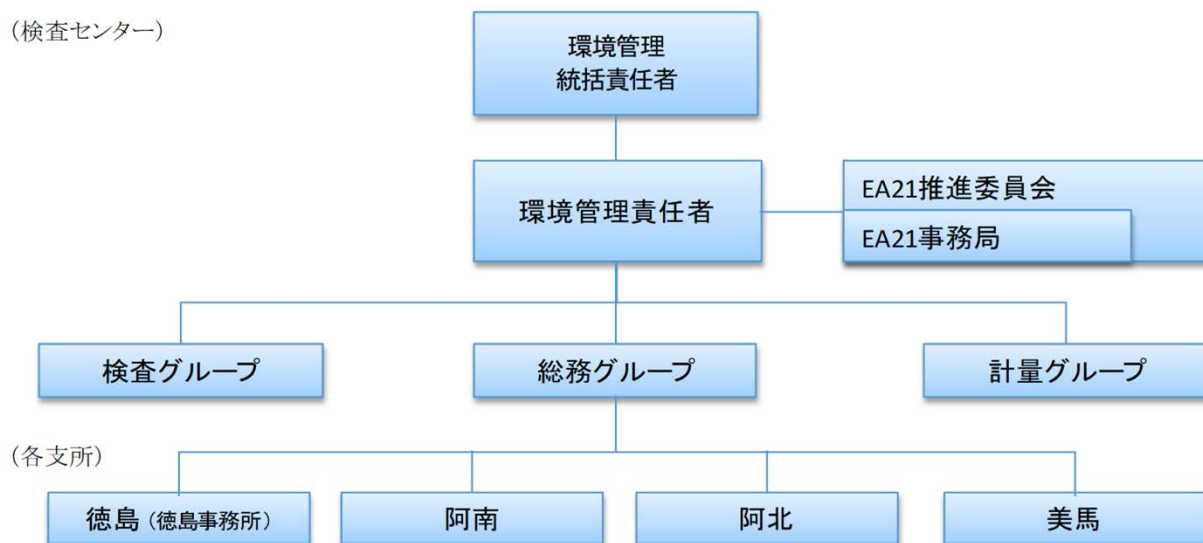
事業規模 売上 559 百万円 (令和5年3月期)

従業員数 81 人

◆ エコアクション21の取組実施体制図

実施体制図及び役割・責任・権限表

(検査センター)



(各支所)

	役割・責任・権限
環境管理統括責任者 (会長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境管理責任者を任命 環境経営システムの実施に必要な資源（人、物、金）への投資の承認 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画を承認 EA21全体の取組状況に関し、環境管理責任者の行う評価・見直しの実施結果を踏まえて、経営トップとして評価・見直しを実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者 (専務理事)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、運用する為にEA21推進委員会を設立する EA21推進委員会を運営し、環境経営システム全体の舵取りを実施 環境経営目標、環境経営計画を確認 EA21の環境関連分書類（環境経営方針を除く）の承認 EA21全体の取組状況に関し、評価・見直しの実施 上記結果を環境管理統括責任者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21推進委員会 (EA21事務局に任命された推進委員) ※主に課長補佐以上	<ul style="list-style-type: none"> EA21全体の取組状況に関し、確認・評価・見直しのための報告資料として各グループ内における問題点・是正・予防処置を取りまとめる 環境活動の実績（取組・負荷）の評価 各グループ・職場における環境活動の推進
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び遵守状況の確認と評価 環境への負荷・取組の自己チェック及び取りまとめの実施 EA21の環境経営目標、環境経営計画の作成 環境活動の実績集計 環境経営レポートの作成および管理 環境関連の社内外の窓口
グループ長 (EA21事務局に任命されたもの及び検査係長以上)	<ul style="list-style-type: none"> 自グループにおける環境経営システムの実施状況の把握と事務局への報告 環境経営方針、自グループにおける環境活動・目標の周知 自グループの関連する法規制等の教育・訓練を実施する 自グループの緊急事態への予測及び対応の試行・訓練を実施する 自グループの問題点の発見、是正、予防処置を事務局へ報告する 社内外の環境情報の収集と事務局への伝達
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 目的達成のためにEA21事務局の意見や指導を遵守する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標及びその実績

項目 環境経営方針と整合	年 度	基準値 (2020年度)	中期目標					
			2021年度		2022年度		2023年度	
			基準年度	目標	実績	目標	実績	目標
《定量化できる項目》								
二酸化炭素を削減する。 調整後排出係数 0.664 kg-CO₂/kWh (ミツウロコヴェッセル)	kg-CO ₂	314,398	311,254	302,297	308,110	295,296	304,966	-
		2020年	-1.0%	-3.8%	-2.0%	-4.2%	-3.0%	-
電力使用量を削減する。	kWh	343,757	340,319	240,191	336,882	216,161	333,444	-
		2020年	-1.0%	-30.1%	-2.0%	-35.8%	-3.0%	-
ガソリン使用量を削減する。	L	61,214	60,602	61,318	59,990	65,152	59,378	-
		2020年度	-1.0%	0.2%	-2.0%	8.6%	-3.0%	-
一般廃棄物を削減する。	kg	5,499	5,444	4,825	5,389	5,564	5,334	-
		2020年	-1.0%	-12.3%	-2.0%	3.3%	-3.0%	-
水使用量を削減する。	m ³	1,900	1,881	1,908	1,862	1,865	1,843	-
		2020年	-1.0%	0.4%	-2.0%	0.2%	-3.0%	-
《定性的項目》								
浄化槽法定検査(11条)の 受検率向上の推進 (啓発活動・環境学習等実施)	回	36	36	43	36	38	36	-
		2020年	+0.0%	19.4%	+0.0%	5.6%	+0.0%	-
県民への浄化槽に関する 正しい知識の普及活動 (浄化槽教室受講率)	%	66.3%	67.3%	58.9%	68.3%	58.5%	69.3%	-
		2020年	+1.0%	-7.4%	+2.0%	-14.3%	+3.0%	-

※目標は基準年度比により算出しております。

※化学物質使用量・産業廃棄物排出量について

当事業所は、水質分析業務に化学物質を使用していますが、公定法に基づき分析を行っているため、化学物質の使用量は決められた量となります。したがって、化学物質の使用量については、削減目標を掲げるのは困難と判断し、環境目標項目に入れておりません。

また、当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

※2018年度見直しにより、「グリーン購入の推進」を除外しました。

※二酸化炭素の削減に関しては、目標を視覚化するため、電気使用量、ガソリン使用量としました。

◇「ガソリン使用に伴う二酸化炭素の削減」

・kg-CO₂ ⇒ L

◇「電力使用に伴う二酸化炭素の削減」

・kg-CO₂ ⇒ kWh

※環境目標「県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動」の評価指標を変更しました。

・浄化槽教室開催数 ⇒ 浄化槽教室受講率 浄化槽教室受講者数/浄化槽設置申請数(届出書/計画書)

※2021年度評価は、2018年度評価を引き継ぎ、2020年度を基準年度とした新たな3ヵ年を中期目標としました。

◆ 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◆ 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量の削減

【環境経営目標】電力使用量を削減する。2020年度を基準として、**2022年度内に2%**削減。

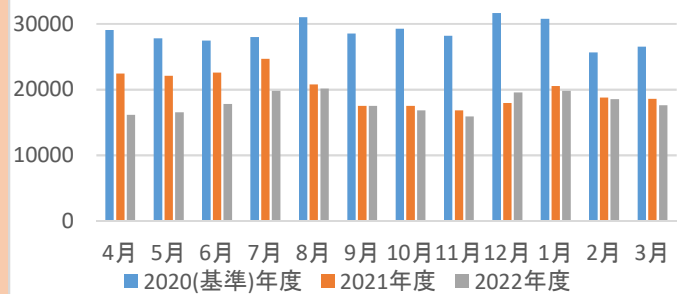
実施責任者:EA21事務局

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・必要な区域・時間帯のみでの空調	通年 ○	取組継続
・空調の適温化(夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃)	通年 ○	取組継続
・OA機器の省電力設定	通年 ○	取組継続
・照明の不要時消灯	通年 ○	取組継続
・エレベーターの使用方法の励行	通年 ○	取組継続
・ブラインド等での熱の出入調整	夏:5~10月 冬:12~3月 ○	取組継続
・クール/ウォームビズの実施	夏:5~10月 冬:12~3月 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・目標は達成できました。
- ・R03年度に館内フロアエアコンを総入れ替えした事によって、基準年度と比較した電気使用量は、R04年度も継続して減少している。
- ・また、クールビズ/ウォームビズ等も適切に取り組んでいます。
- ・次年度も取り組みを継続します。

電力使用量(基準年度・前年度比)



【環境経営目標】ガソリン使用量を削減する。2020年度を基準として、**2022年度内に2%**削減。

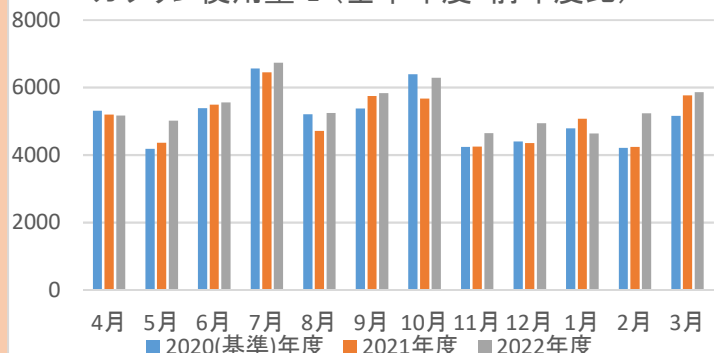
実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・エコドライブの啓発	通年 ○	取組継続
・エコドライブの教育実施	通年 ○	取組継続
・エコドライブの励行	通年 ○	取組継続
・自動車の日常点検実施	1回/月 ○	取組継続
・デジタルタコグラフでの運行管理	1回/日 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・目標は達成できませんでした。
- しかし、目標未達成期間での法定検査総数は約3000基の増であり、同じく同期間でのガソリン使用量も合わせて原単価と比較すると、基準年度の0.84Lに対し0.75Lとなっており、毎月末の業務車両日常点検や、エコドライブが継続されていることにより、効率的なガソリン使用が出来ていると評価される。また、今年度は、調査事業での車の使用も増加している事がガソリン使用の増加につながったと考えられる。
- ・次年度も取り組みを継続します。

ガソリン使用量-L(基準年度・前年度比)



◆廃棄物削減及び3R(減量・再使用・再生利用)活動の推進

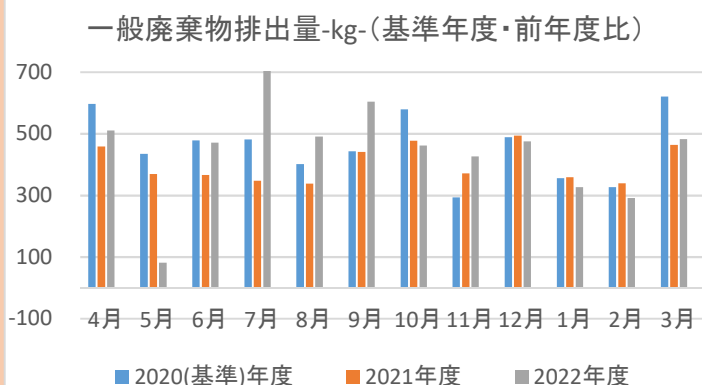
【環境経営目標】一般廃棄物を削減する。2020年度を基準として、**2022年度内に2%削減**。

実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・詰替可能事務用品等の購入	通年 ○	取組継続
・印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷	通年 ○	取組継続
・パンフ有効期限等、無駄のない発注	通年 ○	取組継続
・廃棄時分別。可能なものはリサイクル	通年 ○	取組継続
・廃棄物の分別の啓発	通年 ○	取組継続
・廃棄物の分別の励行	通年 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・目標は達成できませんでした。
- ・7月～9月に事務所レイアウト変更に伴う大掃除を行ったため予想を上回る廃棄物の排出があったためと考えられる。
- ・分別等の取り組みは適切に取り組んでいます。
- ・次年度も取り組みを継続します。



◆水資源の節水

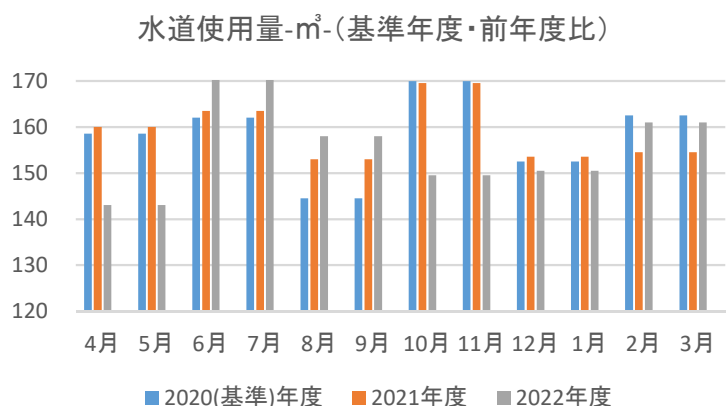
【環境経営目標】水使用量を削減する。2020年度を基準として、**2022年度内に2%削減**。

実施責任者:EA21事務局

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・節水シール等での節水啓発	通年 ○	取組継続
・各部署職員節水の励行	通年 ○	取組継続

取組結果とその評価

- ・ほぼ目標は達成できました。
- ・使用水量は基準年度以下だが、目標の-2%には僅かに届かなかった(-1.8%)。検査数増加に伴う洗浄水の増加等を勘案すれば十二分な成果といえる。
- ・取り組みは適切に取り組んでいます。
- ・次年度も取り組みを継続します。



◆浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進

環境コミュニケーションの一環として、子供向け啓発事業である環境教室、水の大切さを知ってもらうため夏休みの宿題のポスターコンクール、また、環境保全の意識高揚を図り、イベントや各種ボランティア活動への積極的な参加を行う。これら環境コミュニケーションの取組実施により浄化槽法定検査の受検率向上の推進をはかる。

【環境経営目標】浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進(啓発活動・環境学習等実施)

実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・啓発活動・環境学習等実施状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

・目標は達成できました。

・以下のとおり取り組んでいます。

【CSR】

今年度は、コロナ禍で中止していたリフレッシュ瀬戸内(金磯海岸清掃ボランティア活動)が開催され、センター職員も海岸の清掃活動に汗を流した。また、毎年恒例行事であるサイエンスフェア2022が11月に行われ、ごみとして捨てられる、ペットボトルキャップを利用し、オリジナルキーホルダーを作るエコ工作を実施。マイクロプラスチック問題や、地球温暖化について子供たちへわかりやすく説明できるよい機会となった。

パークアドプト運動(草刈り)も例年通り実施。地域貢献、社会貢献を実現、地域密着型の団体として活動を行っている。

【浄化槽月間-街頭啓発活動等】

今年度も県内5箇所の大型ショッピングセンター等において啓発活動の場を頂いた。コロナ禍に配慮し、アンケートの実施については見送りとなったが、オリジナルデザインのエコバッグが好評をいただき、多くの県民に浄化槽の適正な維持管理及び、合併浄化槽への転換を働きかける事が出来た。

【環境学習講座】

令和4年度は、県内小学校計20校の実施となった。今年度もコロナ禍での取組みとなったが、座学の後にを行う水の実験講座は子供たちに大好評となった。総括として、水の大切さや、汚水処理の必要性、目に見えない水の汚れについて、深い関心を持って学んでもらったと言える。

【ポスターコンクール】

未来を担う子どもたちに、水の大切さを知ってもらうため、夏休み課題の「浄化槽の日」のポスターコンクールが今年度も開催された。令和4年度のコンクールは小学生の部・中学生の部、計60名の応募を頂き、全23名の作品が受賞となった。優秀賞、最優秀賞の受賞者8名(小学生の部、中学生の部それぞれ3点、1点)は、表彰式が執り行われ、徳島県知事より表彰を頂いた。

・次年度も取り組みを継続します。

◆県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動

【環境経営目標】県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室における受講率)

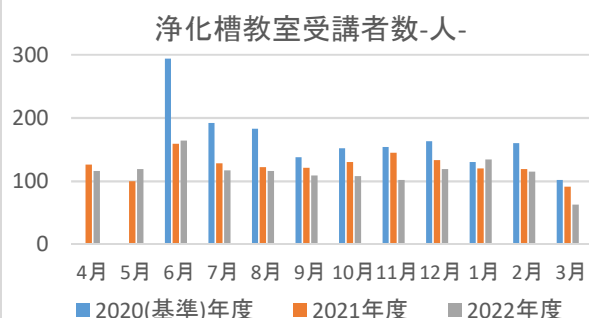
実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・浄化槽教室の開催状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

・目標は達成できませんでした。

令和4年度は年間28会場の開催となった。今年度は、全会場で実施されたが、インターネット受講の普及により、会場での受講者数は減少傾向にある。但し、インターネットでの受講は安定して受講申込を頂いており、多くの浄化槽設置者様に浄化槽に関する正しい知識を学んでいただいた。受講者全体としては1382名となっており、前年度に比べ8%程減少している。(浄化槽設置申請者も7%減少)



《化学物質使用量・産業廃棄物排出量の適正管理》

化学物質使用量の適正管理

当事業所の化学物質使用量は、濃度計量証明事業の業務遂行上、公定法に基づく使用量が排出量となるため、削減等が出来ません。環境目標からは除外していますが適正な管理・委託処分に取り組んでおります。

実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・適正な保管に関する管理状況	通年 ◎	取組継続
・分析に関わる使用量の管理状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

使用頻度は少ないが、使用、管理方法等、適正に取り組んでいます。が、試薬使用量管理においてより正確な管理を行うよう改善提案を行いたい。

定期的な教育訓練により、試薬の保存・保管取扱い等についてその重要性について学んでいる。

・次年度も取り組みを継続します。



産業廃棄物排出量の適正管理

当事業所の産業廃棄物排出量は、全て水質分析業務から排出されるため、同理由により環境目標項目から除外します。

実施責任者:当該グループ長

取組項目 / 実施期間	達成状況	次年度取組内容
・適正な保管に関する管理状況	通年 ◎	取組継続
・適正な処分に関する管理状況	通年 ◎	取組継続

取組結果とその評価

産業廃棄物の保管、廃棄依頼から処分までの各工程においても適正に取り組まれております。

マニフェスト管理については、データベース化されており、適正に管理されている。

また、毎年の産業廃棄物管理票交付等状況報告書も遅延なく提出している。

・次年度も取り組みを継続します。



◆各支所での取組み及び取組結果とその評価

【環境経営目標】電力使用に伴う二酸化炭素を削減する。

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・OA機器の省電力設定	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続
・照明の不要時消灯	通年	◎	-	-	-
		継続	-	-	-
・クール/ウォームビズの実施	夏:5~10月	◎	◎	◎	◎
	冬:12~3月	継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各庁舎のルールに従い、休憩時の消灯、節電に取り組んでいます。
- ・使用しないスペースの消灯を徹底し、電気製品も使用時のみコンセントを差す等、積極的に取り組んでいます。
- ・ドアの開閉による部屋の換気や、ひざ掛け、カーディガン・ベスト、冷感マット等による温度調整にも積極的に取り組んだ。
- ・次年度も取り組みを継続します。

【環境経営目標】一般廃棄物を削減する

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・廃棄物の分別の励行	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各支所ともに庁舎のルールに従い、適正に分別、廃棄の取り組みを行えている。
- ・裏紙の再利用(可能な支所のみ)、また、ペーパーレスを心掛け、紙の無駄遣いを減らす取り組みを行った。また、ミスプリントを減らすため、書類の確認にも注力している。
- ・カン・ビン・PET等の分別を徹底し、マイボトル持参を年間を通して取り組む事で、飲料水の廃棄物を減らす取り組みも行っている。
- ・次年度も取り組みを継続します。

【環境経営目標】水使用量を削減する

実施責任者:当該グループ長

取組計画		達成状況			
		次年度取組内容			
		徳島	阿南	阿北	美馬
・各職員節水の励行	通年	◎	◎	◎	◎
		継続	継続	継続	継続

取組結果とその評価(4支所総括)

- ・各支所、各庁舎のルールに従い、節水の取り組みが行えている。
- ・トイレ用擬音装置を使用するなどの節水にも取り組んでいる。
- ・マイコップの持参により洗い物の回数を減らす事にも取り組んだ。
- ・次年度も取り組みを継続します。

◆環境経営計画(次年度)の取組内容

取組目標	取組項目	実施期間	責任者
電力使用量を削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な区域・時間帯のみでの空調 ○・照明の不要時消灯 ○・OA機器の省電力設定 ・ブラインド等での熱の出入調整 ・エレベーターの使用方法的の励行 	通年	EA21 事務局
	<ul style="list-style-type: none"> ・空調の適温化（夏季冷房28℃ 冬期暖房20℃） ○・クール/ウォームビズの実施 	夏:5～10月 冬:12～3月	
ガソリン使用量を削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの啓発 ・エコドライブの教育実施 ・エコドライブの励行 	通年	当該 グループ長
	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の日常点検実施 	1回/月	
	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルタコグラフでの運行管理 	1回/日	
一般廃棄物を削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ・詰替可能事務用品等の購入 ・印刷物等の残部が出ないように工夫し印刷 ・パンフ有効期限等、無駄のない発注 ・廃棄時分別。可能なものはリサイクル ・廃棄物の分別の啓発 ○・廃棄物の分別の励行 	通年	当該 グループ長
水使用量を削減する。	<ul style="list-style-type: none"> ○・節水シール等での節水啓発 ○・各部署職員節水の励行 	通年	EA21 事務局
浄化槽法定検査(11条)の受検率向上の推進(啓発活動・環境学習等実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動・環境学習等実施状況 	通年	当該 グループ長
化学物質使用量の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な保管に関する管理状況 ・分析に関わる使用量の管理状況 	通年	当該 グループ長
産業廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な保管に関する管理状況 ・適正な処分に関する管理状況 ・適正な処分に関する管理状況 	通年	当該 グループ長

※取組項目の「○」について:支所での取組項目となります。

各種環境保全活動・CSR 活動・イベント等

「リフレッシュ瀬戸内」・金磯海岸の水質検査・海岸清掃ボランティアを実施しました。

1. 開催日時 令和 04 年 06 月 11 日
2. 開催場所 小松島市 横須・金磯海域
3. その他 なし



「パークアドプト清掃活動」を実施しました。

1. 開催日時 ① 令和 04 年 09 月 26 日 ② 令和 04 年 12 月 14 日 ③ 令和 05 年 03 月 23 日
2. 開催場所 津田公園
3. 参加 ① 13 名 ② 13 名 ③ 6 名
4. その他 なし



令和 04 年 09 月 26 日



令和 04 年 12 月 14 日



令和 05 年 03 月 23 日



「浄化槽月間」の啓発活動を実施しました。

浄化槽月間に県下5地域で浄化槽の適正な維持管理及び合併浄化槽への転換を働きかけた。

1. 開催日 ①令和04年10月17日 ②令和04年10月17日 ③令和04年10月20日
④令和04年10月31日 ⑤令和05年01月25日
2. 開催場所 ①三好市 フレスポ阿波池田 ②東みよし町 マルナカ三加茂店
③小松島市 あいさい広場 ④阿南市 ショッピングプラザアピカ
⑤美馬市 マルナカ脇町店
3. その他 ⑤は西部総合県民局による啓発活動（写真撮影無し）



① 令和04年10月17日



②令和04年10月17日



③令和04年10月20日



④令和04年10月31日

・「環境学習出前講座」、「子供向け環境啓発活動（イベント）」を実施しました。

環境学習出前講座 20回

環境啓発活動 4回

開催日時／開催場所

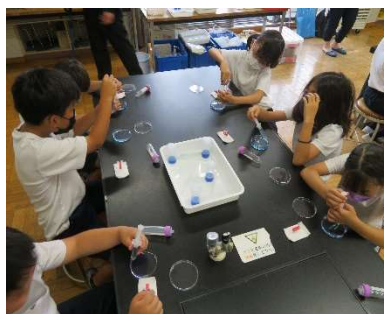
開催日	事業内容	開催場所
令和4年6月04日	環境月間イベント	あすたむらんど徳島
令和4年6月18日	エコみらい6月講座	エコみらいとくしま
令和4年6月28日	環境学習講座（第1回）	阿南市立平島小学校
令和4年7月01日	環境学習講座（第2回）	海陽町立海南小学校
令和4年7月05日	環境学習講座（第3回）	吉野川市立高越小学校
令和4年7月07日	環境学習講座（第4回）	阿波市立八幡小学校
令和4年7月08日	環境学習講座（第5回）	吉野川市立鴨島小学校
令和4年7月12日	環境学習講座（第6回）	阿南市吉井小学校
令和4年7月14日	環境学習講座（第7回）	佐那河内村立佐那河内小学校
令和4年7月19日	環境学習講座（第8回）	三好市立辻小学校
令和4年8月31日	環境学習講座（第9回）	鳴門市立黒崎小学校
令和4年9月01日	環境学習講座（第10回）	鳴門市立桑島小学校
令和4年9月06日	環境学習講座（第11回）	美馬市立江原南小学校
令和4年9月16日	環境学習講座（第12回）	阿南市立津乃峰小学校
令和4年9月20日	環境学習講座（第13回）	阿波市立林小学校
令和4年9月22日	環境学習講座（第14回）	阿南市立平島小学校
令和4年9月26日	環境学習講座（第15回）	美馬市立岩倉小学校
令和4年9月27日	環境学習講座（第16回）	徳島文理小学校
令和4年9月29日	環境学習講座（第17回） （株）三好浄化槽ネットワーク	三好市立池田小学校
令和4年9月30日	環境学習講座（第18回）	阿南市立見能林小学校
令和4年10月05日	環境学習講座（第19回）	徳島市助任小学校
令和4年10月06日	環境学習講座（第20回）	北島町立北島南小学校
令和4年11月05日	サイエンスフェア-2022	あすたむらんど徳島
令和4年11月26日	青少年のための科学の祭典	阿南市科学センター

I. 環境学習講座

環境学習講座（第1回～第20回） 県内各小学校 イベント風景

環境学習出前講座の構成

- ①座学（污水のお話） : 污水の基礎的内容を説明。
- ②座学（地域の生活排水） : 水の循環を中心とした話で、地域における飲み水の水源や污水処理施設等から排出される污水の放流先について説明。
- ③実験（水の汚れを知ろう、体験しよう）
COD パックテストによる水質検査やろ過を原理とする水質浄化実験。



II 子供向け環境啓発活動

環境啓発活動（第1回）

環境月間エコ工作 ～「ペットボトルでジョウロを作ろう！」～

1. 開催日時 令和4年06月04日 1回目10:00~12:00 2回目13:00~15:00
2. 開催場所 あすたむらんど徳島 こども科学館
3. 目的

プラスチックごみが環境問題でクローズアップされているが、すぐに解決するのは難しい課題である。そこで、飲み終わった後のペットボトルを楽しくリメイクし、ゴミの削減について意識付けをし、子供たちに楽しく学んでもらう事を目的としている。



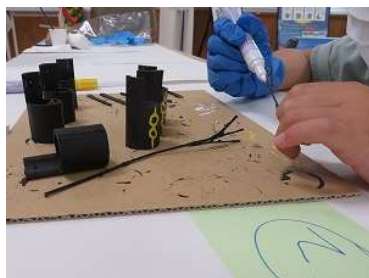
環境啓発活動（第2回）

エコみらいイベント ～竹のからくりおもちゃを作ろう～

1. 開催日時 令和04年06月18日 10:00~12:00 (9:30から受付)
2. 開催場所 エコみらいとくしま 1階会議室
3. 目的

近年、『放置竹林による里山の浸食』が問題になっている。竹や木も自然のまま放置することが環境の保全ではなく、人が山へ入り、竹や木を適度に伐採し手入れをすることで、里山を守ることにつながる。また川や海の水を守るためにも、山の保水機能や浄化機能を維持することが大切で、里山問題は水質問題とも深く関係している。

そのほか、竹の根の張りは浅いため地滑りを起こしやすいなど、防災の面でも、放置竹林は問題視されている。そこで、今回は、竹の工作を通じ、環境問題を考える機会として活用してもらうことを目的としている。



環境啓発活動（第3回）

サイエンスフェア2022 おもしろ博士の実験室

～キャップdeキーホルダー～

1. 開催日時 令和04年11月05日 10:00-15:00
2. 開催場所 あすたむらんど徳島 こども科学館
3. 目的

職員が参加者と一緒に工作をしながら、マイクロプラスチック問題や、地球温暖化など子供たちへわかりやすく説明し、環境問題を楽しく取り上げることが目的としている。



環境啓発活動（第4回）

青少年のための科学の祭典2022 徳島大会

あなんの水をキレイに!! 大作戦

1. 開催日時 令和04年11月26日 10:00-16:00
2. 開催場所 阿南科学センター スマートオフィス
3. 目的

CODパックテストでの実験を通して水の汚れを知り、家庭での汚れをどのようにして減らすことができるのかを考えてもらう。



浄化槽教室

～浄化槽教室の取り組み～

新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、浄化槽を適切に使用していただけるよう、浄化槽の「しくみ」や「使用上の留意点」、「浄化槽法」について学習していただく。受講者には受講証明書を発行。

令和4年度浄化槽教室 全28会場

東部保健福祉局 徳島保健所管轄

(昼：10会場(内休日2会場)・夜：6会場)

東部保健福祉局 吉野川保健所管轄

(昼：4会場(内休日1会場))

南部総合県民局管轄

(昼：4会場(内休日2会場))

西部総合県民局管轄

(昼：4会場(内休日1会場))

受講者数 1,382名 (会場受講 203名、その他WEB教室等 1,179名)

鳴門会場



徳島会場



吉野川会場



美馬会場



津田会場



阿南会場



令和4年度「浄化槽の日」ポスターコンクール

ポスターコンクール作品選考会（審査会）を実施しました。

1. 開催日 令和 04 年 09 月 27 日
2. 開催場所 （公社）徳島県環境技術センター

応募作品 60 点（小学校：44 点・中学校：16 点）から、最優秀：2 点・優秀：6 点・佳作：15 点）が選出されました。



令和 4 年度「浄化槽の日」ポスターコンクール表彰式が執り行われました。

1. 開催日 令和 04 年 11 月 22 日
2. 開催場所 徳島グランヴィリオホテル

最優秀賞受賞者 2 名（小学高の部、中学校の部各 1 名）、
優秀賞受賞者 6 名（小学高の部、中学校の部各 3 名）において、徳島県知事による
表彰状の授与式を行いました。



尚、優秀作品については、県庁および東部保健福祉局などで一般公開が行われました。
また、令和 5 年度のポスターカレンダーとして活用され、県内小中学校に配布された。

令和4年度「浄化槽の日」ポスターコンクール優秀作品

最優秀賞



国府小学校 青木 勇麻(4年)



三加茂中学校 和泉 拓海(2年)

優秀賞



国府中学校 青木 蒼空(1年)



箸蔵小学校 伊丹 恵玲奈(6年)



阿波中学校 金原 紗和香(3年)



上板中学校 小谷 優維(1年)



鴨島小学校 笠原 尚(3年)



新町小学校 和田 実結(4年)

◆ 主な環境負荷の実績と当年度の環境経営目標達成状況

(評価運用期間：2022/04/01～2023/03/31)

年度(基準2020年度)		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
※ 延べ床面積	m ²	1,348	1,348	1,500	-
職員数	人	79	77	81	-
温室効果ガス排出量	kg-CO ₂	314,398	302,297	295,296	-
電気使用量	kWh	343,757	240,191	216,161	-
ガス使用量	kg	133.5	150.8	168.5	-
ガソリン使用量	ℓ	61,214	61,318	65,152	-
水道使用量	m ³	1,900	1,908	1,865	-
総排水量	m ³	1,923	1,932	1,889	-
一般廃棄物排出量	t	5.50	4.83	5564.4	-
産業廃棄物排出量	t	0.25	0.31	0.19	-

※延べ床面積は環境負荷の計測が可能な検査センターのみの面積となります(駐車場スペース除く)。

◆ 当年度目標達成状況

《定量的項目》

(評価運用期間：2022/04/01～2023/03/31)

環境経営目標		目標値	実績値	達成率	判定
二酸化炭素を削減する	kg-CO ₂	308,110	295,296	104.3%	○
電気使用量を削減する	kWh	336,882	216,161	155.8%	◎
ガソリン使用量を削減する	L	59,990	65,152	92.1%	△
一般廃棄物を削減する	kg	5,389	5,564	96.9%	△
水使用量を削減する	m ³	1,862	1,865	99.8%	△

《定性的項目》

(評価運用期間：2022/04/01～2023/03/31)

法定検査受検推進のための各種環境活動	36回	38回	106.0%	◎
県民への浄化槽に関する正しい知識の普及活動(浄化槽教室受講率)	68.3%	58.5%	86.0%	×

達成率凡例	～ 90 %	×	100 ～ 110 %	○
	90 ～ 100 %	△	110 ～ %	◎

定量的項目：達成率(%) = 目標値 / 実績値 × 100

定性的項目：達成率(%) = 実績値 / 目標値 × 100

◆ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反・訴訟等の有無

◆適用される主な環境関連法規制は次の通りです。

(評価運用期間：2022/04/01～2023/03/31)

適用される法規制	適用される事項	遵守状況
浄化槽法	浄化槽の適正な維持管理(保守点検・清掃・法定検査の実施)	遵守
徳島県浄化槽取扱要綱	浄化槽に関する事務の手続き事項の遵守	遵守
徳島県気候変動対策推進条例	環境に配慮した自動車の運転等を推進する者の選任 温室効果ガスの排出を抑制するための取組み。	遵守
道路交通法	安全運転管理者の選任。 車両の大きさ・重量、通行制限等	遵守
道路交通法施行規則	安全運転管理者による運転開始前、 運転終了後のアルコールチェックと管理	遵守
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、日常の車両定期点検	遵守
フロン排出抑制法	第一種特定製品の適正な運用(定期点検・簡易点検等)	遵守
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出。 委託契約締結・許可証の確認。マニフェストの交付と5年間の保存 マニフェスト交付実績の報告	遵守
水質汚濁防止法	排水基準の遵守・排水測定	遵守
計量法	計量証明事業の登録 事業規程の遵守	遵守
化管法/PRTR法	指定化学物質等の取扱等に係る適正な管理	遵守
毒物及び劇物取締法	取扱責任者の選任・保管・表示義務・廃棄方法の遵守	遵守
徳島県生活環境保全条例	指定化学物質等の取扱等に係る適正な管理	遵守
消防法	消防用設備等の点検と報告(火災報知器等)	遵守
グリーン購入法	可能な限りの環境配慮物品の購入	遵守

遵守評価日 2023年06月01日

当センターに適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

◆ 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施概要

評価実施日	2023年08月02日
評価期間	2022年04月01日～2023年03月31日
実施場所	(公社)徳島県環境技術センター
出席者	環境管理統括責任者、環境管理責任者、EA21事務局
資料・記録	エコアクション21 環境関連 《文書と記録》

実施内容

項目	代表者の指示事項（変更の必要性）
環境経営方針	<ul style="list-style-type: none">・変更の必要はありません。・引続き全職員が一丸となり活動を行う事。
環境経営目標及び環境経営計画	<ul style="list-style-type: none">・環境負荷の削減に向けてより適切な対応に努め、定期的に夕礼等で予防処置など呼びかける事。
実施体制	<ul style="list-style-type: none">・変更の必要はありません。・新たな取り組みにあたって必要であれば体制の見直しを検討すること。

総括（全体評価）

新型コロナウイルス感染症の影響は、2022年度も収束しなかったことから、制限下のもとで事業活動を余儀なくされたが、当センターのエコアクション21については、環境経営計画に基づき、積極的に取り組むことができた。

特に、職員への「環境への意識」や「環境負荷の削減」の推進については、e-ラーニングによる社員教育のほか、掲示板や社内グループウェアを活用した情報提供を行ってきたが、年を重ねるごとに職員一人ひとりが積極的且つ自発的に取り組む姿勢が顕著に現れてきた。

なお、2022年度の環境活動実績については、浄化槽法定検査の実績向上によって業務量の増加が影響したため、「ガソリン使用量」や「水使用量」の削減率は目標を達成することができなかったが、その他の項目については、目標を達成することができた。

今後は、業務量の増加を踏まえた上で、該当項目の基準を見直し、改めて目標に向けた取り組みを計画していきたい。

2023年度においても、職員が一丸となって、環境負荷の削減に向けた取組を継続し、持続可能な社会の実現に寄与していきたいと考えている。

